



かみさと

# 議会だより

No.74

平成29年3月



第2・4水曜日に女性センターで実施している『つどいの広場』  
概ね3歳未満の児童と保護者が気軽に集い、交流を図っています！  
12月は、かわいいクリスマスリースを作ったよ！！



上里町マスコットキャラクター  
こおぎっち

議会映像  
配信中！



## 議会を 傍聴してみませんか！ ②

12月定例会の審議状況 ③

追跡！一般質問 あの質問はどうなった ④

12月定例会一般質問に6人 ⑤

記事の一部に読みやすい「ユニバーサルデザインフォント」を採用しています。

# 議会を傍聴してみませんか!

町内外、年齢問いません!  
学生の社会勉強にも!

受付は  
簡単です!

～本会議は、どなたでも自由に傍聴することができます～

## 『百聞は一見に如かず』・・・

今何が行政課題となっているのか、また町議会議員の活動を知るためにも…

## あなた自身の目で議会を見てみませんか!!



目指すは、  
役場町民ホールの上空に浮かぶ円形の部屋!



傍聴席は36席 車椅子席もあります。



正面玄関を入りエレベーターで4Fへ



エレベーターを降りたら右に進み…



傍聴の受付をしてください。

## 11月 臨時会

11月11日

### ◆ 人事関係 ◆

議案第42号

教育委員会委員の任命について

要旨 委員である保坂真哉氏が平成28年11月18日をもって任期満了となるため、後任に大字金久保の島崎 勝氏を任命するものです。

同意

### ◆ 補正予算関係 ◆

議案第43号

28年度一般会計補正予算(第3号)について

要旨 歳入歳出それぞれ3242千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ92億5081万2千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

#### ・ 訴訟事務費

124万2千円

#### ・ 商工業振興事業

200万円

原案可決

# 第6回 12月 定例会

12月5日～9日

12月定例会は、12月5日に開会され、議員6名の一般質問と町長提出議案14件を審議して9日に閉会しました。定例会で審議された内容をお知らせします。



- ◆ 一般会計・特別会計の補正予算を可決
- ◆ 職員の給与に関する条例他の一部改正を可決

## ◆ 条 例 ◆

**議案第44号**  
上里町職員の給与に関する条例及び上里町一般職の任期付職員の採用等に関する条例(改正)

**要旨** 人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告に準じ、改正するものです。

原案可決

**議案第45号**  
上里町長及び副町長の給与等に関する条例及び上里町教育委員会教育長の給与等に関する条例(改正)

**要旨** 町長、副町長及び教育長の期末手当を改正するものです。

原案可決

**議案第46号**  
上里町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例(改正)

**要旨** 議会議員の期末手当を改正するものです。

原案可決

**議案第47号**  
地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件に関する条例(改正)

**要旨** 総合振興計画の策定等を議会の議決すべき事件とするために改正するものです。

原案可決

**議案第48号**  
上里町税条例(改正)

**要旨** 地方税法の一部改正に伴い、改正するものです。

原案可決

**議案第49号**  
上里町国民健康保険税条例(改正)

**要旨** 所得税法の一部改正に伴い、改正するものです。

原案可決

**議案第50～52号**  
上里町介護保険法に基づく指定地域密着型サービス・指定地域密着型介護予防サービス・指定介護予防支援等に係る基準に関する条例(改正)

**要旨** 介護保険法の一部改正に伴い、改正するものです。

原案可決

**議案第53号**  
上里町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例(制定)

**要旨** 農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、制定するものです。

原案可決

## ◆ その他 ◆

議案第54号  
上里町公の施設の指定管  
理者の指定について

要旨 上里町立図書館及び上里町立郷土資料館の指定管理者を指定するものです。

原案可決

・商工業振興事業

2468万4千円

原案可決

■この他に、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決されました。

## ◆ 補正予算 ◆

議案第55号  
28年度一般会計補正予算

概要 歳入歳出それぞれ2億795万7千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ94億5876万9千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

- ・障害者福祉事業 3882万5千円
- ・臨時福祉給付金支給事業 8069万円
- ・橋りょう維持事業 6901万円

## ◆ 意見書 ◆

○部落差別の解消の推進に関する法律案の廃案を求める意見書(案)について

原案可決

○年金制度の改悪に反対する意見書(案)について

原案可決

○カジノを解禁する「統合型リゾート(IR)推進法案」の廃案を求める意見書(案)について

原案可決

# 追跡! 一般質問

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか・・・どう町政に反映させているのか・・・対応を追跡します!

**質** 災害時に手助けしていただけるボランティアの確保と育成づくりを!

災害に対して知識が豊富な人や職業として今まで携わってきた人を災害の指導者として自主防災組織の中に入れていただくのも1つの方法。

平成26年6月定例会(平成26年12月号掲載)

**答** 知識や経験の豊富な人を防災の専門員として雇用することを検討したい。

災害の種類等は多岐にわたっており、防災経験の豊富な方に呼びかけ、ボランティア要員としての協力を募ったり、知識や経験の豊富な人を防災の専門員として町で雇用することについて今後検討していきたい。

どうなった?

平成27年4月より児玉郡市広域消防本部を退職した菊地宏利氏を任期付職員として採用!

町は、菊地氏の今までに培った消防や防災への経験を生かしながら、地域住民を対象とした避難訓練の取り組みや地域災害ボランティアの育成、役場職員や町民の防災行動力の強化など、町民の暮らしを守る取り組みを進めています。



公民館事業の出前講座では「防災・減災」に関する講座の講師を務めました。



職員防災研修の講師を務め、職員の危機管理意識の向上を図っています。

菊地氏は42年間、児玉郡市広域消防本部をはじめ郡市内の消防署において消防官として消防業務に携わってこられました。また国の『防災スペシャリスト養成研修』を受講し、『地域防災マネージャー』の認定を内閣府より受けています!



## 戸矢隆光

問

平成29年度事業の今後の基本的な考え方について

答

これまでの成果を継承・発展 様々な主体が力を合わせ創造・発展を図る

### 1 平成29年度事業について

**問** 平成29年度事業についての特色や新規事業の計画、継続事業の今後の基本的な考え方について

**答** 町長 第5次総合振興計画についてはこれまでのまちづくりの成果を継承・発展させつつ、住民や行政を始めとした様々な主体が力を合わせて、町の更なる創造・発展を図っていききたい。  
・新規事業として農業振興施策の取り組みを始める予定であり、町内梨園のマップを作成し、配布をしたり農村公園や企業と連携して農業体験についても検討をしていきたい。  
・町の公共施設の今後のあり方については個別の施策ごとに老朽化や利用状況等の様々な観点から具体的に検討を開始し、今後数年かけて「(仮称)上里町公共施設等個別管理計画」を作成していきたい。  
・災害に強いまちづくりを更に

進めるため、老朽化が進んでいる防災無線のデジタル化への改修を検討し災害発生時において高度かつ複雑な画像やデータの伝送を迅速に行われるようにしたい。  
また現在行っている継続事業や地方創生事業については今までの事業を着実に推進していきたい。

**答** 教育長 新規事業として有資格者による専門的な点検を順次実施し必要な改善項目の確認整理を実施していきたい。  
・保護者や地域住民の協力を得ながら安心・安全な学校づくりを推進するため、既存の学校評議員制度や学校応援団を活用した組織づくりの可能性について議論しコミュニティスクール設置に向けた具体的な取り組みを進めて行きたい。

健康増進を図る目的で設置したウォーキングコースやサーキット・トレーニングコースのマップを作成し啓発に努めたい。  
・郷土の歴史・文化の啓発を図るため上里町歴史検定を新たに組みみたい。  
継続事業については引き続き上里中学校改築工事を平成30年を目標に実施していきたい。学力向上事業においては児童・生徒の基礎学力の向上や学校力の向上及び児童・生徒の個に応じた支援体制の充実を積極的に実施してまいりたい。更に現在行っている「のびっ子教室」が未実施であった神保原小学校での実施をしていきたい。

### 2 区長と職員の連携について

**問** 各地域に職員の連絡員がいるとサポートできるのではないかと。

**答** 職員もよりよい町づくりのために地域の状況を知り地域に信頼される人材であることが必要であり、区長の皆さんが地域の課題や地域活動を充実させるためには地域だけでは解決できない問題も数多くあり行政との連携が必要であると考えており、職員が地域に目を向けて業務に取り組むことはよいことだと考えている。人口規模や行政区の数、職員の数、役割など、どのような連携が出来るか他の町村を参考に検討していきたい。

**問** 人口減少に伴い文化財を守っていくには人数が集まらずにサポーターを募っていると新聞報道もあるが町でも保存会の人など何が必要なのかということを精査しながらやっていく必要があるのではないかと。

**答** 教育長 保存会の皆様とうまく連携をとりながらこの町の文化についても合わせて研究していきたい。



完成が待たれる上里S1北側の「上里町農村公園」

飯塚賢治



問

避難所開設のための体制づくりは町にリードを！

答

今後、避難所運営委員会等の設置を検討する

質問 1  
地域防災拠点について

**問** 近年の災害多発を鑑みると、早急に避難所運営マニュアルを地域の区長さん等に説明会等を持っていただき、避難所開設のための体制づくりを町にリードしてもらいたい。

**答** 避難所開設は施設の安全点検を実施するおり、自主防災組織等どこまで任せられるかなどの検討課題がある。避難所の運営にあたっては、今後避難所運営委員会等の設置を検討するとともに避難所開設訓練や避難者受け入れ訓練、資機材取扱い訓練などが実施できるよう準備したい。

**問** 備蓄品の不備として衛生用品が指摘されたが、こうした事態を踏まえ、備蓄品については公開をして地域の皆さんの意見を聞くなどすべきでは。

**答** 町では10月に大人用おむつ1000枚、乳幼児おむつ3300枚、生理用品7500

枚防災倉庫に用意した。備蓄品の公開については、リストをホームページに掲載している自治体もあるので今後検討したい。また防災倉庫のスペース等の課題もあるため地域の皆さんの意見をお聞きしながら備蓄を推進していきたい。

**問** 避難所を含めた地域防災訓練の具体的実施について

**答** 各字等で区長さんを通じて防災訓練等をやらせていただければ大変ありがたいと思う。また消防署等の専門の方から皆さんにご指導を承れば大変のぞましいと思っている。



避難場所の看板

**問** 災害時、何より大切なことは人命救助だが被災状況の受けや救助要員確保は整っているのか、また救助用の資機材等は各防災倉庫に準備されているのか。

**答** 実際の救助活動においては、消防団、署と連携をとりながら行動します。救助用資機材についてもそれぞれの配備状況を確認し、必要な機材を協議し配備していきたい。また避難所開設初期に必要な受付簿や看板、各種筆記用具等をセットして各防災倉庫に配備したい。

質問 2  
コミュニティ・スクールについて

**問** 小中一貫のコミュニティ・スクールの推進については、全国では大変な勢いで推進が図られているが、上里町では、どのような考えをされているか。

**答** 教育長 既存の仕組みである学校評議員制度と学校応援団

組織を組織替えることで学校運営協議会を組織しコミュニティ・スクールへと発展させることが円滑にできるものと考えている。総合教育会議の中で議論して、早急に取り組み体制を整えたい。また、小中一貫教育を進める上で課題はあるが、コミュニティ・スクールを設置した各自自治体の情報収集を行い、総合的な教育施策のあり方について検討していきたい。



文部科学省HPより

沓澤幸子



問

既存の公園も使いやすいように見直しを！

答

皆さんの期待に応えるよう利用団体と相談したい

質問 1  
魅力ある公園と健康づくりについて

**問** 「上里町健康づくり推進総合計画」の基本目標の1つ「日頃から楽しく身体を動かそう」とをめぐし、2025年の高齢者人口30%を見据え、高齢者が気軽にスポーツを楽しめる環境として何を重視していきますか。

**答** 運動習慣をつくるための神保原駅南街区公園1号の整備など、場所の確保や、既存の施設を有効活用するなど、ソフトとハードの両面から、町民が健康づくり活動できるよう支援をしたい。

**問** 忍保パブリック公園内にはグラウンドゴルフ場がありますが、利用者は野球場を使用しています。理由は、グラウンドゴルフ場の芝生の状態が悪く傾斜しているために使いにくいからでしょうか。また、木製遊具の公園は草におおわれていて遊べずに帰っていく姿もあるようです。芝生の張替えや遊具の付近

にミニ駐車スペースを整備するなど、既存の公園についても地域の方や利用者の意見を取り入れて見直しはごうでしょうか。

**答** 皆さんの期待に応えるよう、今後相談していきたい。芝生は何年に1回など状況を見ながら利用団体と相談し管理を考えていきたい。遊具を利用される方の駐車場についても、総合的な管理も必要なので、今後、早急に検討したい。

**問** 烏川・神流川総合公園は、「スマートインターチェンジ開通後の利用や農村公園の整備状況などを踏まえながら、国と協議したい」と言うことでした。計画も動き出した今こそ町民の憩いの場として整備し、近隣や遠方からも足を運んでもらえる魅力ある場所にしていく時です。協議は開始していますか。

**答** 総合公園施設を整備できれば、町民の健康・体力づくりにも寄与でき、観光客の増加も期待できます。高崎河川国道事務

所へ相談しましたが、国による整備や国庫補助制度は、現在ないとのこと。今後は河川管理者やインター周辺事業者などの関係機関との意見交換会や実現化対策などを立ち上げて検討したい。

**問** 農村公園内の農産物直売所が完成した場合、現在の直売所を「閉鎖せずに存続してほしい」等の声が多数あります。町としてひびきの農業協同組合に対して存続を要望していただきたい。

**答** 私も二つあった方がいいと思いい、お話をさせていただいた



現在整備中の「神保原駅南街区公園」

経緯もありますが、農協も色々な意見を聞いたうえで結論なので、いまさらとは思いますが話させていただきたい。

質問 2  
貧困対策について

**問** 国は「貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、子どもの貧困対策は極めて重要」とし、約40項目の重点政策を示し、交付金も設けています。県内では富士見市が、「子どもの貧困対策整備計画策定」に取り組んでいます。町も計画策定に向け実態を把握すること。

**答** 貧困と感じている家庭がどのような支援を期待し、どうすれば夢を持てるのか把握していくことは重要だと考えています。広く子育て世代全般のニーズが把握できるような調査を検討し、地域子どもの未来応援交付金の活用と合わせ検討したい。

# 新井 實



問

首都直下地震時などの「自助」の取組みについて

答

最低3日分ぐらいの水と食料の備蓄や家具の固定化の実施を

**質問 1**  
大規模災害の備えについて

**問** 首都直下地震時などに住民自身が身を守る「自助」の取組みについて。

**答** 首都直下地震時などの災害発生直後は、最低3日分の水と食料の備蓄や災害用伝言サービスの体験利用、家具の固定などを住民自身で行って頂くことが「自助」の取組みとして重要になってきます。

**問** 大規模災害時における避難場所が必要となる紙おむつと生理用品等の備蓄について。

**答** 上里町では本年10月に乳幼児用・大人用のおむつと生理用品を購入し、小中学校に設置されている防災倉庫に大人用おむつ約1000枚、幼稚用おむつ約3300枚、生理用品約7500枚を用意致しました。

**質問 2**  
「ご当地マンホール」について

**問** 地域PRに特産品やキャラクターなどが描かれた「ご当地マンホール」を使うことについて。

**答** 下水道事業でマンホールふたによるPR活動としては、平成7年度に下水道マンホールふたのデザインを町内小学校5年生を対象に募集を行い、その作品の中から選んだ町の木、町の花を表現したデザインを下水道マンホールふたに採用し、啓発を行っています。このデザインふたに色づけしたものは、現在



町内の一部で使われているマンホールふた

神保原4丁目の区画整理地内の歩道部分に17カ所設置してあります。

**質問 3**  
文部科学省の「問題行動調査」について

**問** 文部科学省の2015年度の「問題行動調査」について

**答** 上里町では、いじめや不登校が増加しないよう、日頃から児童・生徒の実態を把握し、いじめの早期発見、未然防止に努めるとともに、どの児童・生徒も学校が安心して落ち着いていられる場所となるよう教育委員会と学校が一体となった取り組みを充実していきたいと考えております。

**質問 4**  
全国学力テストが10年目を迎えたことについて

**問** 全国学力テストの結果報告と10年目を迎えた総括について

**答** 教育長 全国学力テストが10年目を迎えた中で、上里町では保護者の経済状況と学力の相關関係についての調査は実施しておりません。全国学力・学習状況調査の調査目的に沿って、全国レベルの調査結果や、県が行った分析を参考にし、町全体の結果分析、学校での結果分析を行い、一人ひとりの児童・生徒の学力を伸ばす取り組みを各学校が実態に応じて実施していきます。

**質問 5**  
高齢者の雇用対策について

**問** 「生涯現役」の環境を整えることについて

**答** 国の雇用対策として、高齢者雇用の環境整備を実施した事業主への助成金支給や市町村のシルバー人材センターなどをつくる組織とハローワークが連携した各種講習会の実施など、多岐にわたって拡充を図っております。

# 一般質問



## 齊藤 崇

問

幾度となく開催が中止されている町のイベント会場について

答

今後も現在使用している堤調節池総合運動公園を工夫し使用していく

質問 1  
堤調節池の本来の目的と意義について

問 平成10年、今から18年前に

埼玉県が大字堤に御陣場川の洪水調節目的で建設した堤調節池を町は「堤調節池総合運動公園」として活用しているが。

答 調節池としての機能は十分果たしている。しかし町として

この施設を有効利用の観点から住民にスポーツ、レクリエーションの場を提供するため、現在の形態を維持し堤調節池総合運動公園として利用していく。

問 「堤調節池総合運動公園」が会場として使用されるようになってから幾度となく中止されている町の4大行事について。

答 町では年間四つの大きなイベントをこの堤調節池総合運動公園で計画、開催している。まず「防災フェスティバル」については、台風等の影響が懸念さ

れる時期で平成25年度からは8月の最終日曜日とした。平成28年度については8月の最終土曜日とし、雨天の場合は翌日の日曜日に延期できるよう計画しましたが、雨天のため中止とした。平成29年度については7月の最終土曜日に開催予定している。次に「町民体育祭」ですが平成10年度から堤調節池で開催して

いる。過去数回、雨天による中止となった経緯があるが、開催時期としては10月の体育の日もしくは、その付近での開催が良くいと考える。延期でなく中止の理由は、各行政区を通じて字別対抗種目に参加する選手を募って頂いているが、選手の2日間の拘束となると区長、県体役員の負担が非常に大きい。

「ふれあい祭り」については安定した秋晴れが続く時期でもあり、過去において中止した経緯はない。

問 今後、町はイベント会場を今まで通り「堤調節池総合運動公園」での開催を計画していくのか、それとも新たにほかの場所に会場を建設する考えがあるのか。

答 計画された町の行事ができるだけ開催できるよう、方策として排水機能の改善ができる



調節池：河川の水位が一定値を超えた場合、一時的に貯留することで、水害を軽減することを目的とした河川施設

か、県の担当機関と調整をし、今後検討していきたい。今後の会場については、以前開催実績のある上中校庭は駐車場確保に難があり、また忍保グラウンドは町の北端で立地の問題があるため、新たに運動公園を造るとなると莫大な費用が必要となる。従って、町で実施する行事については、町の中心地でもあり駐車場も確保されており、堤調節池総合運動公園での開催が最善と考える。

# 仲井静子



問

地域防災体制について

答

官民連携に係る様々な課題をクリアし、いざという時の実効性確保に向けて、今後も取り組む。

質問 1

地域防災体制の強化について

**問** 全国の自治体が、東日本大震災を教訓に危機感を感じ、通常業務の遂行が困難になる事態が発生した際に、自治体として業務の継続や、復旧を速やかに遂行する為、業務継続計画（BCP）を策定し防災力を高めている。町の業務継続計画の内容と今後の取り組みは？

**答** 町民生活に重大な影響をもたらす行政サービス等の通常業務は、継続実施・早期再開が求められる。こうした事態に備えて、業務を中断させない、早急に復旧させる為の取り組みについて作成中。また上里町業務継続計画（地震編）を平成25年3月に策定。今後は、業務継続計画の維持・管理は重要。優先的に実施すべき業務やその業務の執行体制、必要な資源確保等調査を行い継続的な見直しを図っていく。

**問** 大規模災害が発生した場合、全国から自衛隊・消防・警察等の救助部隊や食料や生活必需品などの救援物資が集まる。これらを速やかに受け入れる事が迅速な救援活動や被害拡大防止を図る上で重要では。

**答** 消防・自衛隊等の野営場所は上里中学校グラウンドを予定。支援物資の集積場所は、埼玉ひびきの農協と平成28年10月21日締結。上里営農経済センター集出荷予冷施設の提供や、物資の荷さばき及び管理を円滑に実施する為、フォークリフトなどの資機材の提供・作業員の派遣等協力依頼する事となっている。

**問** 地域防災体制の強化について、女性の視点をもっと行政に反映し、良い政策を

**答** 上里町防災会議の女性の登用は平成23年度は、16名全てが男性、24年度に地域防災計画の改正見直しを実施、18名中1名登用。女性ならではの意見が反映されるように今後増やしていきたい。

質問 2

高齢者ドライバーの安全対策について



町の取り組み状況などを確認しながら、運転免許の自主返納に効果的なものであるかどうか見極めて行きたい。

**問** 町は、都会と違い家用自動車を手交手段として頼らなければ動きが取れない車頼りの生活です。高齢者ドライバーの運転免許自主返納した人に対して足の確保を。

**答** 自主返納して頂けるように、我々としても何らかの恩恵が出来ないかと検討している。自主返納した方にはこむぎっちゃんを無料で乗せるとか、何らかの方法を取っていききたい。

**問** 高齢者ドライバーによる交通事故の多発で、運転免許返納の機運が高まる中、町でも運転免許自主返納した人に対し、タクシー券を発行するなどサポート体制を設け、交通事故撲滅運動につなげて頂きたい。

**答** 新規の予算措置を伴う為、今後、国や県の動向、周辺の市



○新潟県柏崎市

柏崎市議会は「市民と歩む議会」という市民の皆様に関わりやすく開かれた議会を目指し、平成 23 年 9 月議会において「議会改革に関する特別委員会」を設置し、通年議会への移行、市民プラザでの議会報告会を実施しています。また市民アンケート調査を実施していますが「市議会や議員の活動がわからない、伝わってこない」が 1 位で、「自分のことや家族のことで精一杯」が 2 位でした。本会議の傍聴では、「見たことがない」が 1 位でした。

また柏崎市議会では「議会基本条例第 25 条で災害時における議会及び議員の対応」が定義されています。

上里町では、「議会だより」を年 4 回、全家庭に配布したり、「インターネット録画中継」をしています。上里町でも町民アンケートを実施すれば同様な結果が出てくるのではないかと思います。又、本会議の傍聴者についても、少数で特定の人に限定されているのが現状です。町民の皆様に興味関心を持って頂けるような議会改革が必要だと思っています。



柏崎市議会

上里町は比較的災害が少ない所と言われているのですが、最近の国内の現状を見ますと集中豪雨や地震などを含めて安心だと思われていた地域でも災害が発生しております。

上里町でも不測の事態に備え「災害時における議会及び議員の対応」については、『上里町議会災害対策本部設置要綱』を定めています。



湯沢町議会

○新潟県湯沢町

- ①当初予算及び一般会計補正予算の審査・決算審査は特別委員会を設置して審査する。(それぞれの特別委員会を設置して議員全員で審査するので、本会議での質疑は認めない)
- ②特別会計・企業会計の補正予算審査は所管常任委員会で審査する。(本会議での質疑は他の常任委員会の委員は質疑できる)
- ③当初予算審査特別委員会、一般会計補正予算審査特別委員会、決算審査特別委員会の委員長並びに副委員長は、正副議長、各常任委員長を除き、議員の中で持ち回りとする。(委員長は議席番号の大きい順とし、副委員長は議席番号の小さい順とする。但し、欠席等により不具合が生じた場合は、議会運営委員会で決定する)

今回の視察研修地の規模や条件などには相違がありますが、その考え方等は、上里町にとって大変参考になるものでありました。その他に長野県栄村において『畦畔管理の省力化と法面の保全対策』について視察を行いました。

児 玉 郡 町 議 会 議 員 後 期 研 修 会

齊藤、飯塚両県議会議員をはじめ、多くの来賓を迎え、児玉郡町議会研修会が開催されました。今回は「地方議会の役割と権限」と言う演題で、講師は全国町村議会議長会の参与である荒井幸弘氏を招き、約 1 時間 30 分にわたり丁寧に講演をして頂きました。

冒頭、講師は「執行部と議会は住民のために車の両輪になる」と力説していたのが印象的でした。講演の内容は、地方自治の仕組み、議会の役割、議員の活動それに議会の権限と、地方自治法の法律に基づき説明を受けました。中でも、執行機関の監視のところで「議会は主権者である住民に代わって執行機関を監視・評価し、執行機関の独走をチェックする」とあり、改めて身の引き締まる思いがしました。

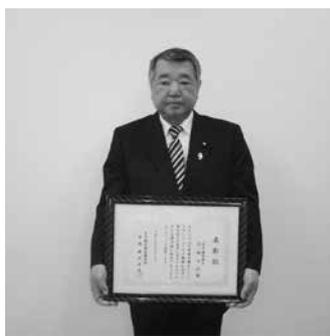
本町からは 13 名の議員の参加で熱心に聞き入り、最後の



質疑応答にも本町からは、2 名の議員が質問に立ち、1 つは委員会での視察研修後に議長に対して復命をするのか、2 つ目は町の監査委員を議会から 1 名選出しているが荷が重いのではないかと質問がありました。



今回の講演を受講し、議員として更にレベルアップしていかなければならないと思いつつ、会場を後にしました。



高橋正行議員が児玉郡町議会議長会から優良議員(10年以上)として地方自治の進展に寄与された功績により表彰されました。受賞おめでとうございます。

# 議会日誌

## 12月

- 5日 12月定例会初日 開会、町長の行政報告、一般質問
- 6日 一般質問
- 7日 全員協議会
- 7日 議案審議（条例等、補正予算）
- 9日 12月定例会最終日
- 21日 児玉郡市広域市町村圏組合議会

## 1月

- 1日 元旦歩け走ろう会
- 8日 上里町消防団・署出初め式
- 8日 上里町成人式
- 11日 埼玉県・市町村議会議長新年懇談会
- 12日 こだま青年会議所新年名刺交換会
- 17日 上里町商工会賀詞交歓会
- 18日 議会だより編集委員会
- 20日 児玉郡町村会賀詞交歓会

## 2月

- 8日 児玉郡市広域市町村圏組合議会
- 10日 埼玉県町村長・議長合同研修会
- 10日 児玉工業団地工業会賀詞交歓会
- 13日 児玉郡町議会議員後期研修会
- 13日 議会だより編集委員会
- 15日 本庄上里学校給食組合議会
- 16日 議会運営委員会
- 16日 商工会、法人会、青色申告会合同研修会
- 28日 埼玉県町村議会議長会定期総会

# 3月定例会を傍聴しませんか！

定例会は、3月3日（金）に開会の予定です。なお、一般質問は3日（金）、6日（月）の2日間を予定しています。

## 3月定例会一般質問一覧

	氏名	質問の要旨
3日 (金)	戸矢 隆光	① 有料広告について
		② 防災について
	飯塚 賢治	① 安定的な水の供給を確保することについて
		② 食品ロス削減に向けての取り組みについて
	植井 敏夫	① 国政選挙について
		② 免許証返納後のサポート体制について
③ 鮭の放流について		
沓澤 幸子	① 高齢者福祉について	
	② 子育て環境について	
6日 (月)	新井 實	① 無電柱化推進法の運用について
		② メガソーラー設置の指針について
		③ 学習指導要領の答申について
		④ 国民健康保険料の見直しについて
		⑤ 公共施設のトイレ改修について
	仲井 静子	① 女性の活躍推進について。ワークライフバランスを押し進めることについて
		② 町立保育園2園の進捗状況について
	齊藤 崇	① 健康マイレージについて
		② 医療機関の充実について

海外では今年に入りトランプ大統領に関する報道が止まらない。大胆な政権公約を大統領令として次々に発動、大国の大統領の行動により関係者が一喜一憂。当然ながら世界中が注目せざるを得ません。何時まで続いていくのか今後も注視です。国内では記録的な大雪により

## 編・集・後・記



日本海側の各地で車や列車が立ち往生。上里町では雨不足による空気の乾燥、インフルエンザの蔓延による学級閉鎖や農作物の生育不足。少しまとまった雨を待ち遠しいと思っているのは私だけでしょうか。

議会だより編集委員会  
委員長 新井 實  
副委員長 仲井 静子  
委員 植原 育雄  
委員 岩田 智教  
委員 齊藤 崇  
委員 戸矢 隆光

## 議会を傍聴！

上里町議会では、皆さんの傍聴をお待ちしております。議会開催日に役場4F傍聴受付窓口までお越しください。

## 議会を動画で！

本会議の一般質問の様子をインターネットで録画配信しています。また、本会議開催中は、役場1階町民ホールのテレビで生中継しています。

## 議会を読む！

「上里町議会だより」は、3月、6月、9月、12月の年4回発行しています。